

# ようこそ 議会へ



↑議会ホームページ  
はコチラ



## 令和6年第1回羽咋市議会定例会 発言順序と質疑・質問項目一覧

開議日：令和6年3月5日(火)

順序	発言議員	質問項目	質問形式
1	浅野 俊二	(1) 令和6年能登半島地震について (2) 長者川の改修を急げ (3) 市営住宅について (4) 志賀原発問題についての懸念事項 (5) 柴垣地区の災害について (6) 新ゴミ施設入札介入疑惑について (7) LAKUNAはくい等のイベントについて	一括質問
2	櫻井 英一	(1) 令和6年度予算案について (2) 液状化対策と住民合意について (3) 被災した企業、事業所への支援について (4) 地域防災計画の見直しについて	一括質問
3	岡本 佐市	(1) 令和6年能登半島地震について	一括質問
4	備後 克則	(1) 令和6年能登半島地震について	一括質問
5	松田 義人	(1) 人口流出抑止のための対応策について (2) 福祉関連事業者の現状と支援について (3) 地域コミュニティへの支援について (4) 将来に備える防災対策について (5) 職員の健康管理と人員確保について (6) 復興・安全安心ビジョンについて	一括質問
6	本吉 典子	(1) 過去最大の震度5強の地震が起きた羽咋市の方向性について (2) 学校生活における合理的配慮の提供の位置づけについて	一括質問
7	新田 義昭	(1) 令和6年能登半島地震について	一括質問
8	松永 幸則	(1) 令和6年能登半島地震後の対応について	一括質問







浅野 俊二 議員

## 市長の言う国、県のパイプは ウソだった



LAKUNAはくい

### スピードが大事、リーダーシップが大事

**【質問】** ①令和6年能登半島地震の市内の甚大な被害は、宅地造成の盛土、砂地の液状化、これらが川や潟周辺に集中した。市民が安心して住めるには、今後いつ頃までに具体的な復興ビジョンを示すのか。これにかかっている。先行が見えなくて決断出来ない、国、県待ちでは、人がいなくなる危機感を感じる。御坊山町内でも、道路や側溝、擁壁、駐車場、家屋、会館、長者川等で被害を受けている。今こそスピードと独自対策が求められている。お隣宝達志水町は独自で液状化対策をすると言っている。当市は遅い。②島出町、千里浜町、御坊山町の市営住宅の民間売却をやめ、むしろ災害対策として整備、新設、エレベーター設備が必要だ。③空き家対策。④仏壇等貴重品の一時保管庫を作れ。

**【答弁】** ①液状化被害が集中していた、大川町や本町、千里浜町及び御坊山町で国土交通省の専門家による調査と報告を受けている。長者川の護岸は応急復旧を実施し本復旧の国の査定を受ける。②市営住宅は、現在売却は考えていない。③耐震補強に最大210万円、リフォームに110万円の補助、入居者への補助。新たに残置物の処分補助金の創設。④貴重品保管は難しい。

### 大金を使うLAKUNAのイベントをやめよ

**【質問】** イベントは、被災者に寄り添う市民のためか一部業界のためかが問われている。私は反対だ。

**【答弁】** 芸能人や文化人等招いてのトークショーで2000万計上している。



櫻井 英一 議員

## 被災者・被災地域の救済を 最優先に



鳥居が倒壊した神社

### 液状化対策

**【質問】** 今回の地震による液状化被害の市内全域での発生箇所とその対応策を聞く。また、国土交通省による道路液状化被害調査が大川町、本町、千里浜町、御坊山町で実施されたが、市内には他の町会でも液状化被害がある。今後、他の町会でも調査を実施する予定があるのかを聞く。

**【答弁】** 大川町、本町、的場町、千里浜町及び御坊山町で顕著な液状化による多数の被害が確認されている。今後、詳細な調査を進める中で、住民の意向を踏まえながら最も効果的な対策を検討していく。また、他の地区で同様の調査を行う予定はないが、液状化対策を含む復旧方針が固まった時点で、地元町会の意向も聞きながら説明会を行う予定である。

### 地域コミュニティへの支援

**【質問】** 今回の震災では、各町会の会館や町会が管理する神社等の損壊も多くあった。また、被災者に対して町会費の免除や減免をする町会もあると聞く。そこで、地域コミュニティを維持するため、町会への財政的な支援が必要だと思うが考えを聞く。

**【答弁】** 町会の集会施設や神社などコミュニティ施設の復旧については、地震復興基金の創設及びメニュー化を県に強く要望していく。なお、町会の集会施設の修繕については、市の集会所施設改修事業費補助金が利用できる。また、地域コミュニティを維持するための財政的な支援については、災害復旧を最優先とし、復旧状況を見ながら検討していく。



岡本 佐市 議員

## 令和6年能登半島地震



解体される被災住宅

### 非住家の被災状況は

**【質問】** 空き家や納屋、倉庫、車庫等の被災状況と対応策、公費解体等の住宅以外の建物への支援について聞く。

**【答弁】** 空き家や納屋などの非住家の被災状況は、2月28日現在、公費解体に向けた被災証明の申請数は228件で、全壊が47件、半壊が51件、準半壊11件、一部損壊12件、未調査107件となっている。

このうち20%以上の損壊となる半壊以上と判定された場合に公費解体の対象となる。

今後も被災証明の申請数が増えるにつれて解体数も増えると考えている。

### 空き家対策

**【質問】** 空き家改修助成でみなし仮設住宅として提供する自治体もある。そのように対策することで空き家対策にもなるが、市の考えを聞く。

**【答弁】** 改修した空き家をみなし仮設住宅として提供していくことについては、震災の発生から現在に至り、みなし仮設住宅として、アパートのあわせんや市営住宅も活用しながら被災された方々の仮住まいの確保に努めてきた。

また、ペットと暮らしている方や移動が困難な方などについては、現在建設中の建設型応急住宅にて仮住まいの確保は可能と考えている。引き続き、空き家バンクの活用を促しながら空き家の活用を進めていく。



備後 克則 議員

## 液状化の宅地復旧補助と耐震化助成の増額を



石川モデルの木造戸建風住宅(県HPから)

### 公的支援の隙間を埋める復興基金の見通しは

**【質問】** 液状化でひび割れ沈下した宅地に再建はできないとの声が多い。地盤改良など宅地の復旧支援へのニーズは高い。支援策がないと個人では動きがとれない。また、耐震化されていない住居が被害を大きくした。非耐震の家屋は多く、国県の補助に市の独自支援を増やし、安全・安心な地域づくりを進めるべきと考える。

国や県、市で対応できない隙間を熊本地震では復興基金で埋めた。宅地復旧補助にも対応した。石川県での復興基金の見込みと市のニーズを聞く。

**【答弁】** 今回の地震は建物被害だけでなく市内各所に顕著な液状化被害が確認された。宅地の擁壁や、地盤改良、住宅の傾斜復旧支援メニューを復興基金に要望している。耐震化は部分的補強工事

の補助を新設する。復興基金は、国の新年度予算で対応してもらえると期待している。

### 木造戸建風住宅(石川モデル)を地域単位に

**【質問】** 高齢の被災者は、住宅の再建が難しい。みなし応急仮設(アパート)入居者から「孤独を感じており入居期限が切れる2年後が心配」との声を聞く。コミュニティで恒久的に住める木造戸建風住宅(ふるさと回帰型・石川モデル)を建設できないか。

**【答弁】** 建設型応急住宅(プレハブ・入居期間2年)67戸を建設し、今後は災害公営住宅も検討する。コミュニティでの整備は現在考えていない。



松田 義人 議員

## 市民とともに創造する 「共創的復興」推進を



防災拠点として機能するLAKUNAはくい

### 「LAKUNAはくい」の防災機能は

**【質問】**「LAKUNAはくい」は、指定避難所になるのか。防災機能としてはどのような設備が施されるのか。

**【答弁】**一時避難場所として800人、指定避難所として250人収容可能な施設となる。主な防災機能としては、給水車による給水が可能な飲料用の受水槽3トンに加え、トイレ洗浄用として水道水を13トン蓄える受水槽を設けている。停電時の電源確保として、自家発電や太陽光発電設備、電気自動車を活用した給電設備を備える。施設1階に防災備蓄庫を設け、食料品や防寒グッズを収納する。避難所として、避難者250人が72時間生活できる水、電気、備蓄品を備えた安全・安心な施設となるよう整備する。

### 復興・安全安心ビジョンの策定を

**【質問】**明確な復興・安全安心ビジョンを示すことが必要だ。新たな羽咋市として、市民とともに創造する「共創的復興」を推し進めるべきだ。

**【答弁】**令和6年内には復興計画を策定する。

「輝く羽咋デジタル総合戦略」に掲げる目標の達成に向け、補完すべき部分や新たに実施すべき事業について、その期間や規模を明確にし、速やかに事業に取り組んでいく方針であり、復興までの方向性を定めていきたい。

羽咋市も決して災害が少なかったわけではないので、被災された方々に対して、市としてもできるだけ支援をしていきたい。

震災から復興、さらに「輝く羽咋」に向けて、市民一丸となって進んでいきたい。



本吉 典子 議員

## 起きてしまったことへの 適切な対応



液状化が点在している羽咋市

### 過去最大の震度5強の地震が起きた羽咋市

**【質問】**災害時の情報発信は特に重要である。LINE・結ネット・メールなど、情報輻輳の解消や、災害時のFMラジオ等の活用を提案する。また現状、駅前のLAKUNAはくいはサードプレイスとして進められ、復興のシンボルではない。発災後の夏オープンに向けたイベント関係予算は、復旧・復興半ばの時期・予算規模・内容・職員のマンパワーを使用することになるが本当に適切か。

**【答弁】**情報輻輳はするが、大勢に知らせることが目的であるため必要だ。能越ケーブルネットとの連携強化、基幹放送やラジオななおなどのコミュニティFM放送局の活用を検討する。イベントは、状況を見定めながら開催内容や規模、時期を決定し、本施設を復興のシンボルとして進める。

### 学校での学習環境

**【質問】**合理的配慮は、障害を持つ人と持たない人が、同じく平等な社会生活を送れるよう、社会的障壁を排除することだ。「配慮ができない」という判断の場合、学校生活における配慮の調整における対話が必要になるが、その建設的な対話の流れを聞く。また、各学校での個別ケース会議の頻度・実績は。

**【答弁】**羽咋市での個別ケース会議は、小学校で28人40ケースあり、中学校では3人で5ケースされている。合理的配慮について、保護者が会議に参加を拒むケースも現在みられるが、両者の歩み寄りが必要だ。





新田 義昭 議員

## 被災者の思いを大切に支援せよ



眉丈台地で建設中の仮設住宅

### 震災による被災状況を問う

**【質問】** 邑知潟の堤防をはじめ、地盤の沈下が至るところで見られ、梅雨期の二次災害が心配。飯山川・酒井川での堤防の破損や沈下が甚大である。市道でありながら通行できない。農業用パイプラインの破損も多い。堤防の破損工事と、水稻の作付ができなかった場合の補償についてたずねる。

**【答弁】** 2月25日に関係者の方々と被災現場を確認。市道の通行確保には、業者に復旧作業を依頼した。飯山川・酒井川の破損や沈下は、管理者である石川県に要望。用水パイプラインの破損は9町会47カ所判明。交付金等を活用し修繕を行っている。水稻作付の補償は、収入保険のみで8割の補償。

### 復興に向けた住宅と支援に問う

**【質問】** ①市がおこなった宅地造成(駅東口・夕日ヶ丘・千里浜ヒルズ)の被害状況は。瑕疵担保責任と支援についてたずねる。②空き家バンク登録中の物件は何戸か。成約は何戸か。③仮設住宅2カ所で67戸建設するという。被災された高齢者に、永住できる安価な市営住宅の建設を。駅東口の駐車場の空き地を検討せよ。

**【答弁】** ①夕日ヶ丘分譲地で、被害に遭われた住民に対しては、復興基金の早期創設を石川県に要望する。市独自の支援を検討する。②空き家登録中の物件は62件で、5件が成約で8件が交渉中。③新たな住宅再建地や、移住定住の受け皿が急務であり、災害公営住宅の整備の検討を行っている。



松永 幸則 議員

## 令和6年能登半島地震後の対応は



日本中から来てくださった災害ボランティア

### スマホ教室の開催の拡充を

**【質問】** 先の地震では、特に高齢者に情報を迅速に届けることができなかった。本来であれば今回のような災害など、事が起こる前に多くの市民の方に登録していただいていることが望ましい。今後、安全・安心メールや、公式LINEが未登録の特に高齢者の市民の方々に、どのように登録を促していくのか。

**【答弁】** 昨年度より、各公民館にて高齢者も対象としたスマホ教室を開催している。講座の内容としては、スマホの基本的な使い方をはじめ、公式LINEの登録や安全・安心メールの登録及び使い方、市の情報ツールも活用してもらうような取り組みもしている。来年度も継続して開催を予定しており、公式LINEの機能拡充も含め、魅力ある講座を提供し、あらゆる機会を捉え、登録を促し、情報格差の解消に努めていく。

### 職員の心身の健康状態の管理を

**【質問】** 職員の心身の健康状態の管理は、上長・管理者の大きな責任であり、義務である。現在の職員の方々の心身の健康状態、今後の心身の健康の把握と管理について、どのように考え、取り組んでいくのか。

**【答弁】** 時間外勤務が100時間以上の職員に対し、産業医の面接指導を3月中旬に実施する。災害対応は長期間に渡るため、特定の職員に業務が偏らないように分担を行うと共に、職員の健康状況を把握し、管理をする必要がある。部課長には、課員、職員の健康管理を注意するように指示し、しっかりと把握をしていく。

## 予算常任委員会報告

○寺井 哲也 ○本吉 典子 丸田 一幹 松田 義人  
 備後 克則 岡本 佐市 川口 雅登 酒井 一人  
 松永 幸則 浜名 等 櫻井 英一 新田 義昭  
 山本 泰夫 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第1号「令和6年度羽咋市一般会計予算」など、議案11件、報告7件。

3月7日から12日にかけて、当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案第1号については、賛成多数により原案のとおり可決した。議案第2号から議案第11号並びに報告第1号から報告第3号、報告第5号及び報告第7号から報告第9号については、全会一致をもって、原案のとおり、可決、承認した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

### \* 令和6年度予算について

**【質問】** 予防接種事業について、帯状疱疹の予防接種の補助内容と予測される人数について説明してほしい。

**【答弁】** ワクチンは2種類あり、接種回数、持続期間、値段がそれぞれ違い、1回あたり3,000円から6,000円の助成を120人分見込んでいる。

**【質問】** こども家庭センター運営事業について、不適切な監護状態にある子どもの散髪やクリーニング費用の推移は。

**【答弁】** 令和6年度の新規事業であり、事業としては、申請に基づくものではなく、直接子どもの意見を聴取し、子どもがそれを希望するのであれば、措置として受けさせるものである。

**【質問】** 能登半島地震による倒壊家屋等の公費解体事業について、対象となる件数とどれくらいの日数を見込んでいるのか。

**【答弁】** 石川県が示しているのは約850件。これを約2年間で終わらせる計画であるが、本市としては、できるだけ早く取り掛かり、1年半を目途に行いたい。

その他として、地域おこし協力隊協働の地域づくり推進事業について、管外保育所等運営支援事業について、LAKUNAはくい運営事業について、市道融雪装置保守管理事業について、ユーフォーリア千里浜管理運営事業についてなどの質問・答弁がされた。

### \* 令和5年度補正予算について

**【質問】** 多面的機能支払事業について、地震で被害を受けた農地の耕作は、専決補正と今回の補正の対応で春の耕作に間に合うのか。

**【答弁】** 邑知潟周辺の陥没や隆起に対しては、応急復旧するとともに、パイプラインの通水試験と田んぼの保水力の確認を実施し、令和6年の営農ができるよう取り組んでいる。

その他として、ふるさと納税推進事業について、応急住宅供与事業について、ICT環境支援事業についてなどの質問・答弁がされた。



## 総務民生常任委員会報告

◎川口 雅登 ○丸田 一幹 本吉 典子 備後 克則  
酒井 一人 松永 幸則 山本 泰夫

当委員会に付託された案件は、議案第12号「羽咋市監査委員条例の一部改正について」など、議案8件、報告2件。

3月13日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案8件、報告2件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決、承認した。審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

**【質問】** 令和6年能登半島地震に係る災害被災者に対する羽咋市税の減免対象者は何人か。また申請や制度の周知徹底が必要では。

**【答弁】** 減免対象は約600人と想定。申請は、被災された方の負担軽減のため、罹災証明書の判定を活用し、申請等の省略を予定している。今後、市ホームページや広報等を活用し周知する。

**【質問】** 保育料の無償化において家庭の都合で市外の保育園を利用している場合は、無償の対象から外れるのか。

**【答弁】** 羽咋市民は、市内の保育園と同様に、市外の保育園を利用についても、無償の対象となる。

その他として、義援金についての質問・答弁がされた。



## 産業文教常任委員会報告

◎櫻井 英一 ○松田 義人 岡本 佐市 浜名 等  
寺井 哲也 新田 義昭 浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第20号「羽咋市土木工事地元負担金条例の一部改正について」など、議案7件。

3月14日に当委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案7件については、全会一致をもって、原案のとおり、可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

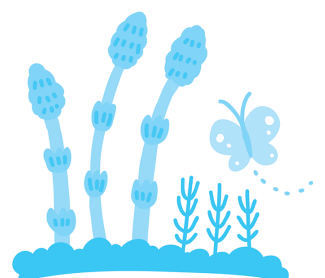
**【質問】** 機能別消防団員の要件や役割はどういったものがあるのか。

**【答弁】** 機能別消防団員の要件は年齢18歳以上で、火災予防の広報など、その人のできることや得意な分野で活躍してもらうのが機能別消防団員の役割と考えている。

**【質問】** 学校給食の無償化について、現在、地震で広域避難されている児童生徒も無償の対象となるか。

**【答弁】** 広域避難されている人は有償となる。ただし、罹災証明の判定が半壊以上の人については、災害救助法を含めた就学援助等での支援になる。

その他として、災害ゴミについて、公費解体について、国の災害査定についての質問・答弁がされた。





# 令和6年 第1回定例会 3月議会 議決一覧

◇議員提出決議案1件、議案1件及び令和6年度羽咋市一般会計予算など、市長提出議案26件、報告9件、追加提出された人事案件3件を原案のとおり、可決、承認、同意した。

## ■全会一致で議決された議案

議案番号	議案名	議決結果
議員提出決議案第1号	令和6年能登半島地震からの復興に関する決議	可決
議員提出議案第1号	令和6年能登半島地震からの復旧・復興の支援の充実を求める意見書の提出について	可決
市長提出議案第2号	令和6年度羽咋市国民健康保険特別会計予算	可決
市長提出議案第3号	令和6年度羽咋市後期高齢者医療特別会計予算	可決
市長提出議案第4号	令和6年度羽咋市介護保険特別会計予算	可決
市長提出議案第5号	令和6年度羽咋市千里浜財産区特別会計予算	可決
市長提出議案第6号	令和6年度羽咋市水道事業会計予算	可決
市長提出議案第7号	令和6年度羽咋市下水道事業会計予算	可決
市長提出議案第8号	令和5年度羽咋市一般会計補正予算（第12号）	可決
市長提出議案第9号	令和5年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
市長提出議案第10号	令和5年度羽咋市水道事業会計補正予算（第5号）	可決
市長提出議案第11号	令和5年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第5号）	可決
市長提出議案第12号	羽咋市監査委員条例の一部改正について	可決
市長提出議案第13号	羽咋市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第14号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第15号	羽咋市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例及び職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第16号	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第17号	羽咋市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第18号	羽咋市国民健康保険税条例の一部改正について	可決
市長提出議案第19号	羽咋市介護保険条例の一部改正について	可決
市長提出議案第20号	羽咋市土木工事地元負担金条例の一部改正について	可決
市長提出議案第21号	羽咋市営住宅条例の一部改正について	可決
市長提出議案第22号	羽咋市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第23号	羽咋市学校給食費条例の一部改正について	可決
市長提出議案第24号	羽咋市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
市長提出議案第25号	羽咋市給水条例の一部改正について	可決
市長提出議案第26号	羽咋市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準等に関する条例の一部改正について	可決
市長提出報告第1号	令和5年度羽咋市一般会計補正予算（第9号）の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第2号	令和5年度羽咋市水道事業会計補正予算（第3号）の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第3号	令和5年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第3号）の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第4号	令和6年能登半島地震に係る災害被害者に対する羽咋市税の減免の特例に関する条例制定の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第5号	令和5年度羽咋市一般会計補正予算（第10号）の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第6号	羽咋市手数料条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第7号	令和5年度羽咋市一般会計補正予算（第11号）の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第8号	令和5年度羽咋市水道事業会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について	承認
市長提出報告第9号	令和5年度羽咋市下水道事業会計補正予算（第4号）の専決処分の報告について	承認
市長提出議案第27号	教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第28号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意
市長提出議案第29号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意

## ■意見が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 欠は欠席

議案番号	議案名	本吉典子	丸田一幹	松田義人	備後克則	岡本佐市	川口雅登	酒井一人	松永幸則	浜名等	寺井哲也	櫻井英一	新田義昭	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
市長提出議案第1号	令和6年度羽咋市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決

議長は採決に加わりません

# 議会活動報告

- 1月11日(木) 第110回能登五市議会議長会定期総会(書面決議) かほく市  
 1月17日(水) 議会全員協議会  
 (1) 令和6年能登半島地震の被害について  
 (2) 令和5年度羽咋市一般会計補正予算(第9号)の専決について  
 (3) 令和5年度羽咋市水道事業会計補正予算(第3号)及び令和5年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第3号)の専決について  
 (4) 羽咋市地域公共交通の再編について  
 (5) 余喜保育所の被害について  
 (6) 邑知保育園の運営について  
 (7) 「AI英会話」の導入について  
 (8) LAKUNAはくいの利用料金について  
 (9) 令和6年4月からのユーフォリア千里浜利用料金について  
 (10) 輝く羽咋デジタル総合戦略(案)について  
 2月15日(木) 第148回石川県市議会議長会定期総会(正副議長出席) 野々市市  
 2月19日(月) 石川県市議会議長会 令和6年能登半島地震緊急要望(議長出席) 東京都  
 2月20日(火) 新年度予算内示会  
 新年度予算の概要と重点事業等について  
 2月20日(火) 議会全員協議会  
 (1) 令和6年能登半島地震の経過報告について  
 (2) 令和5年度羽咋市一般会計補正予算(第10号)の専決について  
 (3) 令和5年度羽咋市一般会計補正予算(第11号)の専決について  
 (4) 令和5年度羽咋市水道事業会計補正予算(第4号)及び令和5年度羽咋市下水道事業会計補正予算(第4号)の専決について  
 (5) 水道スマートメーター導入事業について  
 (6) 機能別消防団員の創設について  
 (7) 羽咋まちづくり株式会社に係る市保有株式の譲渡について  
 (8) 余喜保育所の施設について  
 (9) 第7期羽咋市障害福祉計画・第3期羽咋市障害児福祉計画について  
 (10) 第9期羽咋市高齢者福祉計画・羽咋市介護保険事業計画について  
 2月22日(木) 令和6年第1回石川県後期高齢者医療広域連合議会定例会(議長出席) 金沢市

## 市民の声を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆さまの声を募集しています。

感想などは下記までお寄せください。

〒925-8501 羽咋市旭町ア200

羽咋市議会事務局

電話 0767-22-7160 FAX 0767-22-7210

Eメール gikai@city.hakui.lg.jp

### ■傍聴してみませんか

市庁舎5階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。議会定例会は3月、6月、9月、12月に開催しています。

一度、傍聴してみませんか。

### ■YouTube(ユーチューブ)でも視聴できます

能越ケーブルネットでの議会本会議のライブ配信(生中継)に加え、YouTubeでは、議会本会議・常任委員会のライブ配信(生中継)・録画配信をご覧いただけます。

※配信される映像及び音声は本市議会の公式記録ではありません。

#### 【羽咋市議会YouTubeチャンネル】



※携帯電話等で視聴する場合の通信料は視聴者のご負担となります。

## 編集後記

市議会だよりをお読み頂きありがとうございます。温かい日が多くなってきた今日この頃です。さて、議会では、復興・安全安心ビジョンについて、将来に備える防災対策についてなど地震からの復旧事業を中心に話し合われております。まだまだ道のりはこれからですが、議会も一体となって復興に力を注いでいきたいと思っております。一步一步ですが力強く共に歩んでいきたいと思っております。

編集委員のメンバーは読みやすく、家庭の話題になるような紙面作りに尽力しております。これからも皆様の興味を引く紙面づくりをしていきますのでよろしくお願いいたします。

(丸田 一幹)

### 市議会だより編集委員会

委員長	備後 克則
副委員長	丸田 一幹
委員	本吉 典子
	松田 義人
	松永 幸則